

平成 27 年産 紀南のみかん産地情報

2015/07/07

1. 4月から開花期にかけて、気温が平年に比べ高く推移したため、満開日は早生で5月4日と、前年・平年より5日程度早くなった。

満開後も平年を上回る気温と、6月からは曇雨天が続き、生理落果は思った以上に多くなった。



2. 本年の早生みかんは表回りとなるため、摘果に重点を置くと共に、果実品質向上のため、マルチ被覆やフィガロン散布の啓発を行っている。

7月6日時点の果実肥大は、早生みかんで果径が32.7mm（前年比109.0%、平年比113.1%）と良好である。

3. 今年産の生産予想量（6月30日時点）

品目	面積(ha)	生産予想量(t)	前年比	平年比
極早生	199.0	3,386	94.7%	98.1%
早生	458.7	6,858	106.7%	96.0%
合計(普通含む)	661.6	10,282	102.4%	96.6%

4. 病害虫については、特に目立った発生は見られず、順調に生育している。

5. 果実生育期の気温は、5月下旬までは平年より高く推移したが、6月に入りやや低くなった。また降水量は、5月は平年より少なくなったが、6月上中旬は平年を上回る降雨があった。

